



かわさきチャレンジ・3Rクイズ

Let's Try

川崎市のごみ処理に関するクイズです。以外と難問が多いかも！？あなたは
いくつ正解するでしょうか……。ぜひ挑戦を！！

Q.1

ごみ焼却後に出る焼却灰は、臨海部にある浮島廃棄物埋立処分場に埋立てています。このまま処分場を使い続けた場合、あと何年焼却灰を埋め立てることができる？

- A 約10年
- B 約20年
- C 約50年



Q.2

市民1人が1年間に出した家庭ごみの総量(*)は、どのくらいの量？
(平成17年度実績)

- A 約150キログラム
- B 約200キログラム
- C 約250キログラム



※普通ごみ、空き缶や空きびんなどの資源物、粗大ごみなど、市が収集した家庭ごみの総量

Q.3

家庭ごみの処理費用(*)は、1年間にいくらかかっている？
(平成16年度実績)

- A 約180億円(1人あたり約14,000円)
- B 約200億円(1人あたり約16,000円)
- C 約230億円(1人あたり約18,000円)

※普通ごみ、空き缶や空きびんなどの資源物、粗大ごみなど、市が収集した家庭ごみの処理費用

Q.4

家庭ごみの内訳(*)で、35.7%と最も高い比率を占めるごみは？
(「市民ごみ排出実態調査(H15年度)」より)

- A 紙類
- B プラスチック類
- C 厨芥類(生ごみ)



※家庭から出るあらゆる“ごみ”を組成ごとに分類した重量比による内訳

Q.5

町内会・自治会等の住民組織団体からの推薦に基づき、市長が委嘱した方で、ごみの減量や排出指導などの活動をしている地域のボランティアリーダーの名称は？

- A 分別収集推進員
- B 廃棄物減量指導員
- C ごみ減量リーダー

何問正解しましたか？

たくさんのごみを処理するために、多くの費用がかかっています。

ごみの減量は、埋め立て処分場の延命化につながります。

地域の廃棄物減量指導員さんと協力し合い、ごみの減量・リサイクルを推進しましょう！



Q.3→A (178億6千4百万円、1人あたり13,678円) Q.4→C Q.5→B

Q.1→B Q.2→C (約258キログラム)